

退任のご挨拶

横河電機健康保険組合

前理事長 小澤 正和



この度2月28日付をもって、理事長職を退任いたしました。在任中は、皆さま方の多大なご支援、ご協力を賜りまして、健康保険組合の発展に尽くすことができましたことを厚く御礼申し上げます。

さて在任中を振り返ってみますと、8か月間という短い期間ではありましたが、この間も健康保険組合を取り巻く状況はさらに厳しさを増しており、社会構造の変化、経済低迷などから解散する健康保険組合が跡を絶ちません。昨今、総報酬制の導入、被保険者3割負担、老人保健制度の加入者の段階的引き上げ（70歳から75歳へ）などの医療保険制度の改革が実施されましたが、さらなる改革が待たれるところであります。

このような状況のなかで、当健康保険組合におきましても直営保養所の閉鎖・売却等の施策も展開する一方、皆さまの保険料負担を軽減するために保険料率の引き下げも行っていました。

また、厚生労働省が推進する生活習慣病予防のための「健康日本21」運動に積極的に取り組み、病気になるのを防ごうという一次予防が基本理念となった保健事業を進めることにより、皆さまの健康づくりと健保財政の健全化を目指してまいりました。ひとりひとりの健康の保持・増進をサポートし、安心して医療を受けられるように努めるという健康保険組合本来の役割に、多少なりとも寄与できたのではないかと考えております。

本年度は介護保険制度改正、4月には個人情報保護法の全面施行が予定され、18年には医療制度改革へと続いております。今後も健康保険組合にとりましても厳しい環境が続くことが予想されますが、後任の横河電機株式会社人財総務センター長の相澤動太氏のもと横河電機健康保険組合が健全な発展を遂げてゆくことを祈念しております。

最後になりましたが、今後の皆さま方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げて、退任のご挨拶といたします。

